



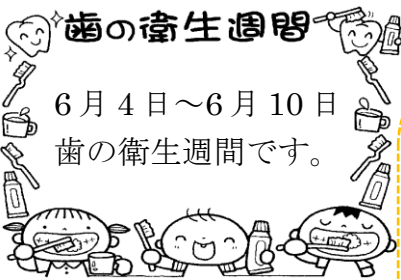
病後児保育施設 にじっこルーム だより No.8

令和元年 6月

じりじりと真夏のような太陽が照りつけるかと思えば、肌寒く冷たい雨の日も・・・6月のお天気は気まぐれです。田植えの終わった水田には卵からかえったオタマジャクシたちが元気に泳ぎ、カエルに成長するのが楽しみです。

さて、新しい元号の令和が始まり一ヶ月が過ぎました。令和はどんな時代になるのか、昭和生まれのにじっこルーム職員達も希望に胸を膨らませています。令和生まれの赤ちゃんが、にじっこルームを利用される時が来ることと思います。新しい時代を担っていく子ども達の健康と成長を見守っていきたいと思います。

赤ちゃんのよだれ



北欧諸国の子どもには虫歯が少ない！

虫歯の豆知識



にじっこルームを利用されるお子さんの中によだれが多い赤ちゃんもおられます。そんな時、「よだれが多くて服がよく汚れます…、何回もよだれかけを替えています…」という声をお聞きします。拭いても拭いても出てくるよだれ。いつになったら終わるのかなと思ってしまいがちですが、よだれには大切な役目があります。

- ① 母乳やミルクの消化を助ける。
- ② 口の中を殺菌して虫歯になりにくくする。
- ③ 口の中が傷つかないように保護する。等の役目です。

離乳食を食べて口の筋肉が発達し、しっかり唾液が飲み込めるようになればよだれは収まってきます。しかし、急によだれが増えた場合は見逃さず、口の中に何か異常がないかチェックしてみましょう。

乳歯と虫歯と歯並びの関係



「乳歯が虫歯になっても、抜けてしまえば大丈夫。大人の歯が生えてくるから気にしない…」と虫歯菌の悪いさやきを聞いていませんか？虫歯が進行するとあごの骨の中に膿がたまることもありますし、膿の場所を避けて、本来、生えるべきではないところに永久歯が生え歯並びが悪くなります。乳歯だからと軽視しないでしっかりと磨いて虫歯にならないように気を付けましょう。

北欧諸国の人が体質的に虫歯に強い歯を持っているというわけではなく、虫歯が少ない理由としてあげられるのが、食生活や歯磨き習慣に対する意識が高く、フッ素やシーラント、キシリトールといった虫歯予防に効果的なケアを徹底しておこなっていることです。また、虫歯などの予防を目的とした検診を受けるために歯医者さんに通うのが一般的になっているそうです。

〔問い合わせ〕

鳥取市児童健康支援センター病後児保育施設「にじっこルーム」
鳥取市的場一丁目1番地 鳥取市立病院内 (Tel) 0857-37-1577

